

### 薬師岳の眺め



### 竜爪山の由来

竜爪山（りゅうそうざん）は薬師岳と文殊岳を合わせた呼び名です。竜爪山の名の由来は、いくつかの説があります。主なものに、日本武尊が東征の時に、この山から時雨が襲ってきて衣を濡らしたことから「時雨匠山（じょうそうざん）」と呼ばれるようになり、この発音が、なまって「りゅうそうざん」と呼ばれるようになったという説や竜が木の枝に爪を落としたことから名付けられたという説などがあります。



# 静岡いきものの 市散策マップ



## 竜爪山コース

1000m

- 本コース
- 舗装道路
- 河川
- ★ GPS情報のある植物
- バス停
- ♂ ♀ トイレ

### 穂積神社



夫婦杉

### 穂積神社

### 新富士見台 タカの渡り観察地

### 薬師岳 1051m

### 竜爪山

### 文殊岳 1041m

通行止

樹齢 500 年の夫婦杉



GPS情報:  
N35°5'33" E138°24'37"

### タカの渡り

日本に夏鳥として渡ってくるタカの仲間（サシバ、ハチクマなど）は秋（9月下旬から10月上旬）に南に移動します。その途中のタカは竜爪山周辺でも見られ、その数は1日で、時には数百羽から千羽近い数に及びます。遠くで、小さくしか見られないため、望遠鏡が必要です。

【特徴】

サシバ：中型のタカで、上昇気流に乗って群れで上空へ昇る様子も見られます。  
ハチクマ：サシバより大きく渡る数が少ない。

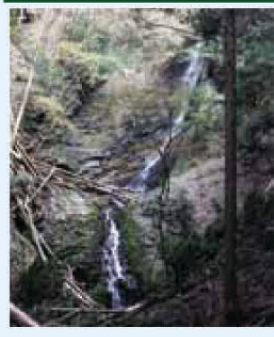


サシバ



ハチクマ

### 肝冷やしの滝



### 平山旧登山口入口

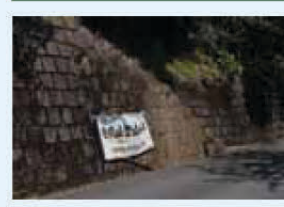


旧登山口からも、登れます。

### 平山旧登山口

### 平山新登山口

### 平山新登山口入口



### 文殊岳山頂



牛妻方向にいかないように！

### 文殊岳から見える南アルプス



### 則沢第二登山口



第一登山口方向へ

### 則沢第一登山口

### 道白堂



ニホンカモシカ

600m

スギタニルリシジミ



サンコウチョウ

### カメラに写った動物たち

竜爪山には、多くの哺乳類が住んでいます。この写真以外にも、ニホンジカ、キツネ、タヌキ、アナグマ、テン、ハクビシン、ノウサギなども撮影されました。



ニホンカモシカ



イノシシ



ニホンザル

### 則沢バス停留所



### 則沢バス停



### 平山公民館前トイレ



平山公民館前のトイレは、竜爪山をイメージしてつくられたユニークなトイレです。

### 平山バス停留所



### 平山バス停



瀬名方面へ

ハイキングコース行程（徒歩） 約6時間 距離 9.5Km

平山バス停→1時間→平山登山口→1時間30分→穂積神社→50分→薬師岳→30分→文殊岳→2時間→則沢バス停





# 静岡市 いきもの 散策マップ

## 竜爪山コース

### しょくぶつ

- ヤマジノホトトギス
 

山地の林のまわりに生えています。8～10月に鳥のホトトギスの胸の柄に似た白地に紫色の点がある花を咲かせます。
- ケキツネノボタン
 

キンボウゲの仲間。春から初夏にかけて、黄色の花を咲かせます。茎に小さな毛があります。田んぼのあぜなどに生えています。
- キツネノカミソリ
 

ヒガンバナの仲間で、8月にオレンジ色の花を咲かせます。林のまわりに生えています。有毒です。
- ツリフネソウ
 

夏から秋にかけて赤紫色でつり舟型の花を咲かせます。谷すじなど湿気の多いところに生えています。
- キランソウ
 

シソの仲間で、道ばたに生えています。3～5月に紫色の花を咲かせます。
- イヌハコネトリカブト
 

関東地方～中部地方の山地に生えるトリカブトの仲間です。9～10月に紫色の花をたくさん咲かせます。
- シャガ
 

アヤメの仲間で、山地の林のまわりや道ばたに生えています。4～5月に白色に少し紫がかった花を咲かせます。
- ヤマルリソウ
 

4～5月に青紫色の花を咲かせる多年草です。林のまわりややぶったところに生えています。
- オオジャノヒゲ
 

6～7月に淡い紫色～白色の花を多数咲かせる多年草です。山地の林の中に生えています。
- キバナノショウキラン
 

葉を持たない植物で、ランの仲間です。山地の林内に生えています。7～8月に淡い黄色の花を咲かせます。
- ナガバノスミレサイシン
 

葉が5cmほどの長めの三角形であることから、この名があります。春に青紫色の花を咲かせます。林の中のやや湿ったところに生えています。
- マルバスマレ
 

葉は丸形で、春に白色の花を咲かせます。花びらには紫色のしみが入ります。林の中やまわりに生えています。
- ミツバツツジ
 

小さな木で、尾根沿いなどに見られます。4～5月に赤紫色の花を咲かせます。
- ミヤマシキミ
 

小さな木で、仏花のシキミに似て、山地に生えていることからこの名があります。ミカンの間で、4～5月に白い花を咲かせます。
- ミツマタ
 

中国原産で、枝が必ず三つに分かれることから、この名があります。3月に白色の花を咲かせます。
- ミツパテンナンショウ
 

サトイモの仲間で、独特な形状の仏炎苞（小さな花を囲むように発達したつづみ）をもちます。5月に花を咲かせます。

### アクセス情報



- 【バスでのアクセス】
1. しずてつバス静岡駅前バスターミナル6番乗場より「竜爪山線」に乗車。
  2. 「瀬名新田」にて下車。
  3. 「瀬名新田」より、則沢方面乗場から竜爪山線に乗り換え。
- 平山登山口まで
4. 「平山」にて下車。
  5. 徒歩60分で、平山登山口。
- 則沢登山口まで
4. 「則沢」にて下車。
  5. 徒歩30分で、則沢第一登山口。

### 緊急連絡先

- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- 消防 119番
- 警察 110番

### 注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装、水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- 里山には、ハチ、ヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹、花や山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク  
 発行者：静岡市環境創造課  
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号  
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666  
 制作年：平成27年2月

### とり・どうぶつ

- シジュウカラ
 

全長15cmくらいで、背と頭のほかに胸のまん中も黒くなります。山地から里や人家のまわりに1年中見られます。
- ホオジロ
 

全長17cmくらいで、オスは高い木の上で「チヨッピー、チチュ、チュチュリチュー」と鳴きます。
- カケス
 

全長33cmくらいで、山地の林に1年中すんでいます。雑食で、主に昆虫や果実を食べます。
- ノスリ
 

中型のタカで、空中で凧のように停止して、地上の餌を探します。翼の下面が白く、扇形の尾が特徴です。
- ヤマガラ
 

全長13～15cmくらいで、背と腹がレンガ色をしています。「ツツピー、ツツピー」と鳴きます。
- モズ
 

全長20cmくらいで、なつばりを持ち、「キィ、キィ、キリッ、キキ、キリリリ」と高い声で鳴きます。
- ヒヨドリ
 

全長28cmくらいで、全身が灰褐色、長めの尾を持っています。低地から山地の林や市街地で1年中見られます。
- ヒガシニホントカゲ
 

山地から低地の日当たりのよいところに生息し、小さな虫やクモなどを餌にします。幼体は青色で、成体は褐色です。
- ジョウビタキ
 

全長14cmくらいで、翼は黒褐色でまん中あたりに白い斑紋があります。本州では冬に見られます。
- キビタキ
 

スズメより少し小さな鳥で、山地や里山の林にすんでいます。オスは喉が橙色で、胸から腹までが黄色をしています。
- アカショウビン
 

全身赤い鳥で、カワセミの仲間です。夏鳥として渡来し、山地で繁殖します。「キョロロロ」と特徴のある声で鳴きます。
- タゴガエル
 

体長4～5cmくらいのアカガエル。沢や川の湧き出しで繁殖し、卵を産みます。
- メジロ
 

全長12cmくらいで、からだの上面はやや暗めの黄緑色で、眼のまわりは白色、胸は黄色になります。
- オオルリ
 

全長17cmくらいで、繁殖のため、春に東日本に渡ってきます。雄の背中や尾も含め光沢のある青色をしています。
- トラツグミ
 

ツグミの仲間で、夜「ヒューヒュー」とさびしかに鳴き、その声が伝説の動物「ヌエ」と言われました。
- アズマヒキガエル
 

日本在来のカエルの中では大型で、体長9～15cmとなります。繁殖期には雄は小さく「ブグググ」と鳴きます。

### むし

- ウラギンシジミ
 

はねの裏側が銀色や大きなシジミチョウの仲間。はねの先が尖っています。初夏と秋に見られ、成虫で越冬します。
- アオジョウカイ
 

体長2cm弱の青いのはねのジョウカイボンの仲間。胸の左右は淡黄色に緑どられ。花の蜜をなめるほか、小昆虫を捕食します。
- サカハチチョウ
 

はねの斑紋が「逆さの八」のようなところから名付けられました。春の成虫と、夏の成虫では、斑紋がたいへん異なります。
- ヤマトアザミテントウ
 

6～9mm程度のテントウムシで、オレンジ色の地にたくさんの黒い線が見られます。おもにアザミの仲間に付きます。
- オナガアゲハ
 

黒色のアゲハチョウの仲間。後ろのはねの長い突起が特徴です。主に山地の深谷や雑木林の林縁部に住んでいます。
- クルマバタ
 

飛んでいる時に、後のはねの模様が車輪がまわっているように見えるのでこの名があります。7～11月に見られます。
- ニワハンミョウ
 

2cmくらいのハンミョウの仲間です。オレンジ色の地に白い斑紋があります。成虫は4～10月に見られます。
- アサヒナカワトンボ
 

体長4cmくらいの、金緑色で細い脚をもつトンボです。オスは、はねが橙色のものと透明なものがあります。

### メモ

しずおか みんなの  
しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)

